

東京国立 博物館 ニュース

第677号
展示と催し物
案内

2006

67

月号

2-3 ● 平成17年度新収品

4-5 ● 特別展 プライスコレクション「若冲と江戸絵画」展

6-7 ● 親と子のギャラリー

「ライスコレクション 若冲と江戸絵画」/「博物館の動物園」

平常展見どころ案内2006年6月・7月

8 ● 国宝 八橋蒔絵螺鈿硯箱

9 ● 特集陳列「唐様の書」/特集陳列「琉球の工芸」など

10-11 ● 特集陳列「日本の城郭」/国宝 普賢菩薩像など

12-13 ● ようこそ! 博物館の舞台裏へ
デザイン室のお仕事

14 ● INFORMATION

15 ● TOPICS

16 ● 2006年6月・7月の展示・催し物



特集
陳列

「平成17年度新収品」

6月6日(火)～7月2日(日)

本館特別1室・特別2室

購入や篤志家からのご寄贈によって、平成十七年度に新たに東京国立博物館の収蔵品となった文化財の一部を展示します。展示作品のなかから主な作品をご紹介します。

楊貴妃と玄宗の悲恋を描く

長恨歌図屏風

長恨歌は、中国唐代の詩人白居易が作った長編叙事詩で、日本にも平安時代に伝わり、「源氏物語」などの文学に大きな影響を及ぼしています。玄宗皇帝の寵愛を受け、栄華を極めた楊貴妃が、戦乱で殺され、悲しむ玄宗がその魂を探し求めるというお話は、日本文学にふれた人であれば、だれでも愛唱できるほどよく知られています。

この屏風には、そのお話のうち、いくつかの名場面が描かれています。画面には、源氏雲とよばれる洲浜の形をした金箔で作られた雲が、たなびいて各場面を分けています。その雲は、さまざまな装飾がなされていますが、蠟燭などの揺らぎのある火のひかりがあたると、乱反射して、悲恋の物語を幻想的に照らし出すのです。(松嶋雅人)



長恨歌図屏風(部分) 筆者不詳 江戸時代・17世紀
願わくば、比翼の鳥となり、連理の枝とならんことを

玉堂仕官中の貴重な作品

重文 山中結廬図 浦上玉堂筆

玉堂(一七四五～一八二〇)は四十九歳で武士の勤めを辞め、翌年、春琴・秋琴という二人の息子とともに

に備中(岡山県)鴨方藩を脱藩しました。老後は、自由人として諸国を遊歴し、漂泊の画人として、ま



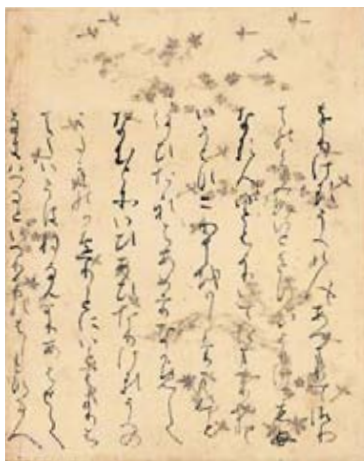
◎山中結廬図 浦上玉堂筆
江戸時代・寛政4年(1792)
玉堂48歳の基準作。橋の上の人物が後の玉堂の生き方を暗示する

た文人としての生涯を送りたかったようです。遺品の大半は脱藩以後のものですが、「山中結廬図」は数少ない仕官中の、しかも玉堂としては珍しく絹に描いた作品です。玉堂といえば、墨を惜しむようにかすれた筆を擦りつけた筆致や、むくむくと盛り上がってくるような岩塊の表現が思い浮かびますが、この作品にはまだ、その独特な画風はあまり顕著ではありません。むしろ、やわらかな筆遣いと明るい彩色におだやかな静けさを感じます。画風の形成を考える上にも重要な基準作です。(松原茂)

石山切(伊勢集) 伝藤原公任筆

本願寺本36人家集の分割
平安時代古筆の一つの頂点を示す作品に、「本願寺本三十六人家集」があります。白河法皇の還暦祝、あるいは華麗な料紙と能書の手筋を競った冊子合せの品とする説がありますが、いずれにしても、王朝貴族の美意識を反映して、料紙装飾の粋を結集し、二十人による能書の寄合書きによって成立した調度

手本です。「伊勢集」は、その中でも破れ継ぎや唐紙などの料紙を含んだ最も華麗なものです。昭和のはじめに、本願寺の鏡如上人(大谷尊由)は女子宗教大学(現在の武蔵野大学)設立の建設資金にあてるために、実業界の巨頭で茶人・美術品収集家として著名な益田鈍翁らの助言もあって、分割を決意したのが、この「伊



石山切(伊勢集) 伝藤原公任筆
平安時代・12世紀 高木聖鶴氏寄贈
筆跡と料紙の美しさに注目

絢爛豪華な色絵金欄手

色絵荒磯文鉢

元禄期、伊万里は明代後期の景徳鎮民窯の金欄手^{きんらんて}が流行するのを受けて、国内向けの金欄手を作り始めました。

波濤^{はとう}から跳びはねようとする鯉を描いた荒磯図^{あらいそず}を染付^{ぞめつけ}で描き、上下左右の四方から染付地を背景として色絵と金彩で描かれた唐花文が囲み、華麗な金欄手の唐花と染付の荒磯とが対照の妙をみせています。間をつなぐのが花唐草文で、その背景が中国の金欄手に見られる萌黄地と赤地の二種類となっています。

国内向け金欄手の代表作は型物と呼ばれ、中でも荒磯には赤玉雲

龍につぐ高い評価が与えられています。型物では対で用いられることも多く、萌黄と赤の組み合わせは元禄らしい華やかな雰囲気を出しています。

(伊藤嘉章)



色絵荒磯文鉢 伊万里 江戸時代・17～18世紀
国内向け金欄手の中でも献上手とよばれる最高級品

春の訪れを待つ小景

雪中花鳥図

厳しい寒さの中、梅の古木が雪をのせた枝に春の先駆けを示す花をつけ、周囲には雪を被った数本の竹が竿をのぼし、また水鳥が、上方の梅枝に停まっている番の小禽を覗くように見上げています。水墨仕立ての冬枯れの景色の中にあって、色彩を賦された紅梅、水鳥、小禽は精彩を放ち、春の到来が遠くないことを示すかのようです。本図は落款もなく筆者は不明です。狩野伊川院榮信^{いせんえいしん}(一七五五～一八二八)は添状で王李本筆と極めています。王李本は『君台観左右帳記』に元時代の寧波の画家と記され

るのみで、中国の画史等には記録がなく詳細は明らかではありません。日本には古く舶載されたようで、徳川秀忠に仕えた松平正信(一六二一～九二)の箱書があります。川崎家旧蔵品。

(湊信幸)



雪中花鳥図 南宋～元時代・13世紀
古く中国から舶載された団扇の花鳥図

インド細密画

東洋館のインド美術の展示は、第1室にインド・ガンダーラの彫刻、第3室にインドの考古遺物、また時期により更紗などの染織品を展示していましたが、このたび新たにインドの細密画一九三点が館蔵品に加まりました。

ムガル王朝成立以前の十五世紀末から十九世紀まで、また、いわゆるムガル絵画とラージプト絵画の各スクールの作品を網羅しており、中世のインド文化を知る上で

有益な作品が数多くあります。

写真の作品は、ラージプト絵画の中でもカーングラ派に属するものです。インドの古代叙事詩『マハーバータ』にみられる『ナラ王物語』の一場面で、ナラ王と結婚する隣国の王女ダマヤンティーの婿選び式に向かう天の神々の姿を描いています。

(小泉恵英)



ダマヤンティー姫の婿選びへ行く神々(『ナラ王物語』より)
インド、カーングラ派 19世紀初

特別展 プライスコレクション

「若冲と江戸絵画」展

若冲や芦雪など、個性的な江戸絵画に早くから注目し、独自の鑑識眼でコレクションを築きあげたカリフォルニアのプライスご夫妻。時代がようやく追いついたのか、ここ数年プライスコレクションの中核をなす奇想の画家や江戸琳派の人氣が急速に高まっています。この展覧会では、六〇〇点にもぼる貴重な江戸絵画コレクションから、一〇一点を厳選。プライスさんの絵画の楽しみ方を取り入れた斬新な展示で、今まで気づかなかった日本美術の新しい魅力を満喫していただきます。

個性豊かな

江戸絵画の祭典

アメリカ・カリフォルニアのジョー・プライスさんと夫人のエツコさんによるプライスコレクション約六〇〇点の絵画作品から、一〇一点を選んだ江戸時代絵画の展覧会



太平洋を臨む自宅で愛犬と

スポーツカーが 若冲に化けた！

ジョー・プライスさんは、アメリカ・中南部のオクラホマの出身です。オクラホマ大学工学部を卒業した後、父親が築いた石油や天然ガスのパイプライン敷設会社でエンジニアとして働いていましたが、その頃からプライスさんの興味は、会社経営よりも建築やデザインにあったようです。五十歳を機に引退してロサンゼルスに移り、江

戸時代絵画の収集とその紹介に全力を注ぐようになりました。プライス・コレクションの物語は、大卒卒業のときにはじまっていた。父親の友人で帝国ホテルの設計者として知られる建築家フランク・ロイド・ライトと訪れたニューヨーク。東洋美術のコレクターでもあったライトのお供で立ち寄った古美術店で葡萄を描いた一幅の水墨画に心惹かれたプライスさんは、大学の卒業記念として買うはずのスポーツカーのかわりに、名前も知らない一枚の絵を手にしたのです。一九五三年、二十四歳の時のことです。この時からコレクションがはじまりました。画家の名前や伝記を知らずに、ただ見て気に入ったものだけを集めたコレ

クション。のちに、最初の作品を含めその多くが若冲作品であったことがわかるのですから、その一貫した鑑識眼に驚かされます。若冲や江戸琳派の作品は、装飾的デザインのように見えますが、深い自然観察に裏付けられ、自然より自然らしく感じさせる人工的世界が作り出されているのです。確かな眼と技術が、人工的自然を造りだす盆栽と共通するものがあります。



紫陽花双鶏図 伊藤若冲筆
江戸時代・18世紀 独特の形態と極細密の技術が若冲の宇宙に生命感を創り出している

プライスコレクション 「若冲と江戸絵画」展

2006年7月4日(火)～8月27日(日)
東京国立博物館 平成館

主催：東京国立博物館、日本経済新聞社
特別協力：財団 心遠館
後援：アメリカ大使館、南カリフォルニア日米協会
協賛：NEC、日本興亜損害保険
協力：ロサンゼルス・カウンティ美術館、日本航空、ファースト・デザイン・システム
観覧料：一般1300円(1100/1000)
大学・高校生900円(700/600)

* ()内は、前売/20名以上の団体料金です。
* 障害者とその介護者1名は無料です。入館の際に障害者手帳などをご提示ください

プライス流 鑑賞法を再現

会場は、画家の系統別に五章に分けて構成されていますが、ガラスケースを用いず、光の効果に工夫を凝らした展示室を1室設けました。「江戸時代の絵画にガラスケースはなかった」という、プライスさんの鑑賞に対する基本姿勢によるものです。作品の前のガラスを無くしたことで、さまざまなライティングをすることが出来るようになりました。絵画が光によって表情を変えることに気づけ

ば、新しい鑑賞法を発見出来るかも知れません。今回はそんな挑戦もしています。

江戸時代絵画のすばらしさを見直して、楽しんで欲しいというプライスご夫妻から日本人々へのプレゼント。展示会場に並ぶ個性的魅力に満ちた作品を、理屈抜きの眼で楽しんでいただきたいと思います。

(田沢裕賀)



佐野渡図屏風 酒井抱一筆 江戸時代・18世紀



光のあたり方で金と絵の具の見え方が変わり、雪が現れる



青桐・楓図 鈴木其一筆 江戸時代・19世紀
色彩の対比の妙。雨の降り方の違いに気を付けて見ていただきたい

■ 記念講演会

① 7月8日(土)13:30~15:00 平成館大講堂
「なぜ、どのように江戸絵画に魅惑されていったのか」
ジョー・プライス 逐次通訳つき

② 7月29日(土)13:30~15:00 平成館大講堂
「若冲を魅了した男」 MIHO MUSEUM館長 辻惟雄

事前申込制 定員各回380名

聴講無料(ただし、プライスコレクション「若冲と江戸絵画」展の観覧券が必要です)

申込方法 官製往復はがきの「往信用裏面」に聴講を希望する講演会(①か②)、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお申し込みください。

*1枚のはがきで、1人1講演のみ申し込み可能。

*応募多数の場合は、抽選のうえ聴講券を送ります。

申込締切 ① 6月21日(水)必着 ② 7月12日(水)必着

申込先: 〒113-8799 本郷郵便局私書箱第25号

「若冲と江戸絵画」展講演会係

お問い合わせ (03)3575-9823(共同PR内講演会事務局)

ギャラリー」今年は2本立て！

親と子のギャラリー プライスコレクション

若冲と江戸絵画

—あなたならどう見る？ ジャパニーズ・アート—

7月4日(火)～8月27日(日)
平成館1階 企画展示室

「プライスコレクション『若冲と江戸絵画』展」に合わせて、プライスコレクションを親子で楽しめる企画展示室で、プライス夫妻ご所蔵の日本絵画作品八点を展示します。

「日本絵画をどう見るか」をテーマに、ちよつとユーモラスな作品やカラフルな作品を選びました。そして、プライス氏がどのように「ジャパニーズ・アート」(日本美術)を集

めたか、アメリカという異文化に身をおくコレクターならではの視点に着目しながら、構図の面白さや日本絵画の題材・材質の特色などを実感していただけるような展示を試みました。趣向をこらした参加型鑑賞ツールなども用意します。いろいろな鑑賞方法を十分に味わったら、もっと楽しい自分なりの絵画鑑賞の切り口を考えてみてください。

(吉田知加)

虎図(部分) 谷鵬筆 江戸時代・19世紀
ぎょろりとした大きな目と、それに似つかわしくない小さな耳。江戸時代の虎の絵は、本物を見たことがない作家自身のイマジネーションの産物なのだ



仏涅槃図(部分) 森徹山筆 江戸時代・天保8年(1837)
仏涅槃図は、いろいろなルールがある絵だが、動物たちの嘆きのシーンは作家の個性が発揮される



◆鑑賞ツールとワークシートで楽しもう！

会場に設置したツールを使えば、新しい世界が見えてくるはず。
解説付ワークシートも毎日配付。

◆ワークショップに参加しよう！

家族で参加 あなたもコレクター
—あなたなら何をコレクションする？—

博物館の展示作品の中から、
お気に入りを探してどんなコレクションができるかな？
選んだ作品の画像を使って、ミニミュージアム作りに挑戦しよう！

対象：小学校3年生～中学校3年生のお子さんと同伴の大人

●第1回 7月29日(土) 10:00～17:00 平成館1階ガイダンスルーム

●第2回 8月11日(金) 10:00～17:00 平成館1階ガイダンスルーム

定員：各回10組。大人と子ども一緒に作業します。両親、兄弟姉妹そろっての参加も可能です。

申込方法：①参加者全員の氏名 お子さまの学年 ②住所 ③電話番号(FAXの場合は、FAX番号も)

④参加希望日をご記入の上、往復はがき、FAX、電子メールのいずれかで申し込みください。

申込先・お問い合わせ先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館 教育普及室
FAX 03-3822-3010 電子メールアドレス edu@tnm.jp

第1回締切：7月15日必着、第2回締切：7月28日必着

締切後、教育普及室よりご連絡いたします。申込多数の場合は抽選になります。

お問い合わせ：東京国立博物館 教育普及室 TEL 03-3822-1111(代表)

恒例 夏休みの「親と子の

親と子のギャラリー

博物館の動物園

7月4日(火)～9月3日(日)
本館1階14室

本館14室の特集陳列「動物」では、
いろいろな動物に出会えます。
日本美術において動物をかたど
った作品は、猪や猿など身近な動物
を表した縄文時代の土製品にはじ
まり、その後現在にいたるまで信仰
の対象、宗教で用いる道具、調度品、
文房具、装飾品などさまざまな用途
をもった動物がつくられてきまし
た。また近代になると西洋美術の影
響を受けて「彫刻」としての動物も
つくられるようになりました。今回
の特集陳列では館蔵品を中心に縄
文時代から近代までの動物をかた
どった作品を集めました。展示では
楽しくごらんいただけるように「技

巧の粋をこらした動物」「小さくて
愛らしい動物」「パーツとなった動
物」といった小テーマを設け、さら
に時代順に変遷をたどれるように
しています。

今回はこの展示をお子さんと一
緒に楽しんでいただけるように解
説パンフレットを作成しました。パン
フレットは、平成館企画展示室「親と
子のギャラリー」「若冲と江戸絵画」
開催中。前ページ参照）や本館玄関
などで配布します。パンフレットを
手にお子さんと作品をご覧いただ
ければきっと楽しさも倍増するは
ず。本館の展示をいつもとは違った
視点で楽しんでください。（加島 勝）



白磁兎像
津田信夫作 昭和9年(1934)
雪兔を思わせるような白磁の肌合いが印象的

○猪形土製品
青森県つがる市木造亀ヶ岡出土
縄文時代後期～晩期・紀元前2000～400年
縄文人は何を思いつくったのか



水滴
江戸時代・19世紀
牛も駱駝も愛らしい姿。思わず手に
とってみたいくなる



亀形文鎮
栗原貞乗作 江戸時代・19世紀
今にも動き出しそうなくらいリアルに
つくられている



岩上双虎置物
鈴木長吉作
明治33年(1900)
子を守るため、鋭い
目つきで威嚇する



織部獅子鈕香炉
美濃 安土桃山時代・慶長17年(1612)
つまみが獅子の形につくられた香炉



これだけは
見逃せない!
おすすめの
この1点

アートディレクター・光琳による「八橋プロジェクト」

国宝 八橋蒔絵螺鈿硯箱 尾形光琳作

6月20日(火)～9月18日(月・祝) 本館13室 漆工



光琳こうりんのデザインとして名高いこの硯箱すずりばこは、東京国立博物館の漆芸品を代表する存在でもあります。例年、描かれている燕子花かきつばたの季節である初夏に展示されてきました。が、ここ数年他館の展覧会への出品が続き、東博では久々の登場です。

表面には燕子花と板橋をクロージアップして大きく描きながら、蓋表から四側面まで図様を破綻無く連続させています。板橋は奥の面からはじまって蓋表を通り、左側の側面、手前の面を通って右側の側面で終るまで、底面を除く五面を通して一本に繋がっているのです。非常に巧みな文様構成で、作者の卓抜したデザイン力を示しています。また、燕子花と板橋の組み合わせは、有名な『伊勢物語』の一場面を象徴した図柄です。ありわたしのなみち在原業平ともいわれる主人公の男が、京に住みづらくなつて東へ下る旅へ出ます。途中、三河の

国「八橋」にさしかかり、燕子花の咲き乱れる沢のはとりで望郷の歌を詠み、涙を流す……というくだりを表わしているのです。

細部を見ると、貝片たがねを鑿で打ち欠いて燕子花の花びらのヒラヒラとした感じを表わし、鉛の板の表面を叩いて粗らし、人の踏み渡る板橋の質感を表現しています。



●八橋蒔絵螺鈿硯箱

尾形光琳作 江戸時代・18世紀

光琳の卓越したデザイン力と優れた職人の力がひとつになって生まれた奇跡の芸術

ただし、光琳は漆芸や金工の技術を身につけていたわけではありません。実際にはこうした繊細な細部表現を含め、硯箱のすべてを専門の職人達に依頼して制作したと考えられます。

光琳自身が作ったものではないのかと、がっかりなさるでしょうか？ 工芸品の制作において、こうした分業や協同は決して珍しいものではありません。現代社会においても、優れたリーダーやコーディネーターのもと多くの人間が力を合わせ作り上げた作品が、人々に大きな感動を与えることは証明済みです。光琳の主導により、様々な技術者の仕事を結集した「八橋蒔絵螺鈿硯箱」プロジェクト。その成果は、今なお見る人を惹きつけてやみません。(竹内奈美子)

注目の特集

本館特別1室・特別2室 企画展示

幻の大雅作品を初公開！

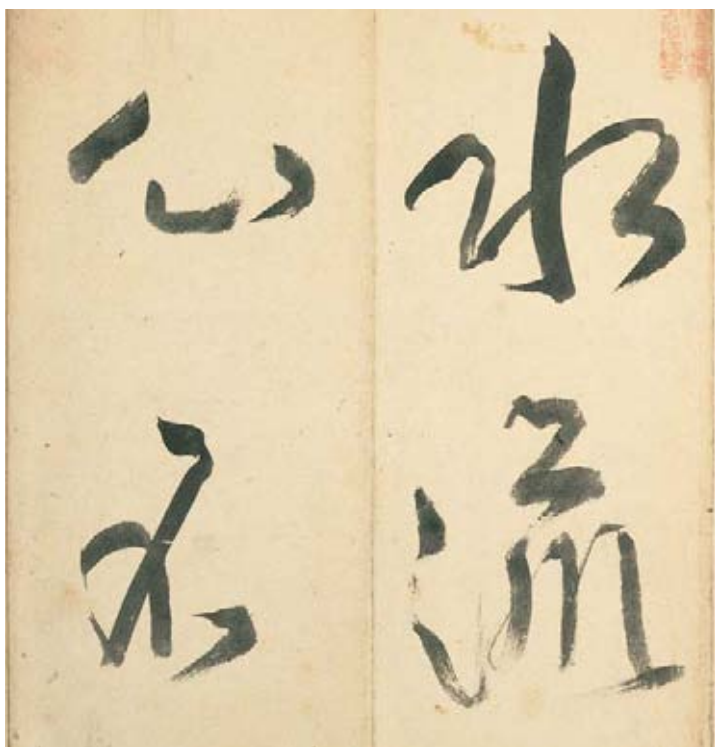
特集陳列「唐様の書」

7月11日(火)～8月6日(日)

江戸時代前期、明の禅僧・隠元らの来日とともにたらされた中国書法(唐様の書)は、これ以後、僧侶や儒者文人らを中心に大いに広まりました。この特集陳列では、唐様の時代的展開を館蔵品と寄託品から紹介するとともに、江戸時代中期の池大雅と彼に関わる人々の書跡を展示し、唐様の書の流れと彩りをご覧ください。

後期以来所在不明で昨年巷間に出現した池大雅筆「水流帖」(原本)です。杜甫や李白の詩から撰んだ五言詩三十六句を篆隸楷行草の各書体で書き分け、淡墨で折帖に揮毫したもので、晩年五十代の筆と推定されます。诗情と筆致が一体化し、悠揚迫らぬ書風は、自然体を志向した生き様と、文人の書の高みをお忘れ下さい。

(丸山猶計)



水流帖 池大雅筆 江戸時代・18世紀 個人蔵
本文の冒頭「水流心不競、雲在意俱遲」(杜甫「江亭」)。大雅の心に映った自然の姿か

本館9室 能と歌舞伎

親しみやすい喜劇のよそおい

特集陳列「狂言の面と装束」

6月27日(火)～8月27日(日)

狂言は、中世日本の庶民生活をユーモアたっぷりに描いたドラマです。地方の下級武士とそれに仕える太郎冠者、次郎冠者など、どこにでもいるような親しみやすい人々が登場し、日常生活における人間のちよつとしたわがままやずるがしこさ、なまけ心やそそっかしいなどが、コミカルに演じられます。武士の略礼装である素襖、武士の使用人が着用していた肩衣や半袴など、麻製の染模様を中心に、豪華な絹織物である能装束と

(小山弓弦葉)



素襖 茶麻地傘模様(上衣) 室町時代・16世紀
大胆な傘の染模様。もっとも古い狂言装束と伝えられている

本館15室 民族資料

琉球伝統の壺屋焼

特集陳列「琉球の工芸」

5月30日(火)～9月3日(日)

壺屋焼は、17世紀に今の那覇市の一角に焼物の町がつくられて以来、現在まで作り続けられている沖縄を代表する伝統的な焼物です。釉薬をほどこした上焼と、硬く焼き締めただけの荒焼とがあります。写真のカラカラは表面に細かい白化粧土を施し、線彫りや型押しで文様をつくりあげた後、呉須、緑釉、鉛釉の三彩を施しています。

線彫りや三彩は壺屋焼の代表的な技法のひとつです。カラカラとは酒器のことです。由来はこのような酒器の評判がことのほか良く「カラ(貸せ)、カラ(貸せ)」と声が上がったからという話と、音が「カラカラ」と鳴るからという話とが伝えられています。

(日高慎)



カラカラ 第二尚氏時代・19世紀
青・緑・茶色の釉薬が美しい琉球壺屋焼の代表的な酒器

失われた江戸城の姿を探る

特集陳列「日本の城郭」

6月27日(火)～8月20日(日)

近世の城郭は、城下町の人々にとってまさに町の象徴でした。その多くは明治維新以後取り壊されてしまいました。近年各地で復元が試みられています。日本最大規模の江戸城については、徳川家康の関東入封以前の様子を描いた



◎旧江戸城写真帖 本丸北詰渡門内水道図
蜷川式胤編 横山松三郎撮影 高橋由一彩色 明治時代・19世紀
(6月27日～7月23日展示)

「長祿年間之江戸略図」、明暦の大火前の「江戸城天守閣図」や、取り壊し直前に撮影された「旧江戸城写真帖」(重文)などによって失われた江戸城の姿を再現します。また奥絵師・狩野晴川院(養信一七九六一八四六)らの手になる華麗な「江戸城障壁画下絵」や、その制作過程が知られる晴川院自筆の「公用日記」などを紹介します。さらに、全国各地の特色ある近世城郭の構造を、彩色の絵図や古写真によって通覧します。
(富坂賢)

草原の民の歴史をたどる

特集陳列「中国北方青銅器」

6月6日(火)～9月3日(日)

ユーラシア北方草原地帯の東部にあたる中国北方では、羊などを飼育する牧畜民が古くから暮らしていました。そこでは持ち運びや家畜の解体に便利で、動物の意匠をあしらった青銅器が多く使われました。この特徴は南シベリアの青銅器と共通しており、同時代の中国農耕地帯で栄えた容器を中心とする商・周の青銅器とは異なりま

さまざまな意匠を楽しむ

特集陳列「朝鮮のうちわ」

7月19日(水)～9月3日(日)

今年も夏に合わせて朝鮮時代のうちわを展示します。朝鮮時代には男性が扇子(折扇)を、女性がうちわ(団扇)を主に用いました。女性が用いるうちわは色彩も美しく、絵画にも女性の小道具として登場します。

形や文様によってさまざまな名前がつけられていることも特徴です。全体の形をバショウの葉に見立てた「芭蕉葉扇」、うちわの骨の先を曲げ、キリの葉の葉脈に見立

す。前八〇〇年頃には家畜とともに長距離を移動する本格的な遊牧民がユ

動物形羊頭飾 春秋～戦国時代・紀元前6～5世紀
長い首と大きな耳の野生ロバに似た動物



ーラシアの草原に登場します。すると中国北方の青銅器は、さらに遠い黒海沿岸・中央アジアのスキタイ文化やサカ文化の影響を受けるようになりました。文字をもたなかった草原の民の歴史を、中国北方の武器・馬具・動物意匠の青銅器でたどります。
(川村佳男)

てた「桐葉尾扇」、うちわの骨を細くしてぎつしりと並べ、全体を鳥の尾に見立てた「鷺尾扇」、民族の伝統に根ざした文様を持つ「太極扇」「国旗扇」を展示します。

暑さをしのぐ道具にも、さりげなく意匠をこらした朝鮮のうちわをご堪能ください。



(白井克也)

左から芭蕉葉扇、太極扇、桐葉尾扇、鷺尾扇

気になる
この部屋・
この作品

本館2室 国玉室

金銀で飾られた美しい姿

国宝 普賢菩薩像

6月6日(火)～7月2日(日)

平安時代に高まった法華経信仰を背景として、法華経の信仰者を守護するとされる普賢菩薩像の制作が盛んに行われました。『法華経』には、普賢菩薩は東方淨妙国土から六牙の白象に乗って信仰者の前に現れると説かれています。

現存する普賢菩薩像の中でも、この図は肉付きのよい体つきと、これでもかというぐらいに用いられた截金文様や銀泥による装飾が特徴となっています。煌びやかで夢幻的な雰囲気、包まれた、平安後期の優品をお楽しみください。

(沖松健次郎)

●普賢菩薩像 平安時代・12世紀 鳥取・豊乗寺蔵
光背や衣等を埋め尽くした多様な截金文様に注目



本館7室 屏風と襖絵

地図は時代を映す

重文

世界及日本地図屏風

5月23日(火)～7月2日(日)

ヨーロッパの人たちが、インド、東アジア、アメリカ大陸へ進出していった大航海時代に、日本は異国の文明と邂逅し、未知の世界のかたちに関心を強めました。当時の地図の形式を踏襲した小判型の枠に囲まれた世界地図と、たなびく黄金の源氏雲に彩られた日本地図が好対照となっています。日本地図には、豊臣秀吉による朝鮮出兵時の半島へ繋がる経路が九州から朱線であらわされています。また、隠岐島(島根県)の左手には、日本で竹島と呼んでいた磯竹(鬱陵島)が描かれています。

(松嶋雅人)



◎世界及日本地図屏風 安土桃山～江戸・16～17世紀 個人蔵
世界はどんなかたち? 日本はどこなところ?

平成館考古展示室

遮光器土偶と同じ顔の表現

重文 土面

常設展示

縄文時代後・晩期には、土面と呼ばれる一種の仮面が作られるようになりまし。人間の顔の大きさに近く、紐を通して顔に固定するものと小型で紐を通す孔がないものがあります。なかには鼻の曲がった道化的ような表情をみせるものもありますが、ほとんどは表情のないものです。ほかに、実物大の鼻や耳口などの土製品もあり、これらは



◎土面 青森県つがる市木造亀ヶ岡出土
縄文時代晩期・紀元前1000～紀元前400年頃
遮光器土偶の顔に良く似た装飾豊かな土面

法隆寺宝物館 第5室

高麗の金工の技術を示す

金山寺香炉

常設展示

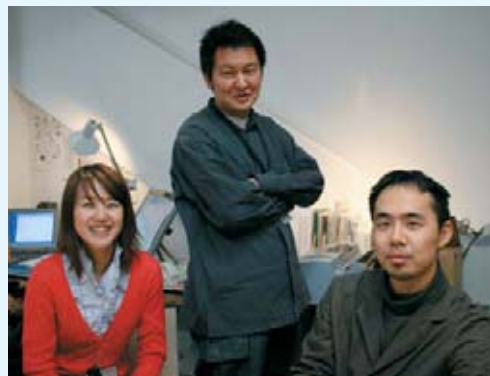
法隆寺献納宝物には少ない韓国の高麗時代に制作された金工品です。台座周縁に大定十八年(一一七八)に、現在の全羅北道にある金山寺大殿の弥勒像の前に置かれたことが、銀の象嵌で記されています。韓国では、香垵と呼んでいます。日本では「金山寺香炉」といい、その呼び名は、この作品が典拠となっています。韓国にも、金山寺香炉は多くあり、ほとんどが全面に



金山寺香炉 高麗時代・1178年
香炉の台脚。蓮華や花唐草の文様に注目

蓮華や唐草などが、銀の線象嵌で表されています。この香炉は実は台脚のみが残存するもので、香炉の身の部分は欠失しています。それでも脚や台座には蓮華や花唐草文が細い銀線象嵌(韓国では象嵌を入糸と呼んでいます)で表されており、高麗時代の金工の技術の高さがしのべられます。

(原田一敏)



左から、石川裕子さん、木下史青さん、矢野賀一さん



博物館をデザイン—— デザイン室のお仕事

第10回

東博には「デザイン室」があります。デザインといえば、洋服や家具など、身の回りのおしゃれなものが思い浮かぶ方も多いのでは。博物館の「デザイン室」って何をしているところなのでしょう？ さっそく訪ねてみました。

まずはデザイン室のメンバーを紹介しましょう。日本の博物館ではデザイナーとして初めて正職員として採用された木下さん、東博には七年勤めています。矢野賀一さん、石川裕子さんと一緒に、博物館をデザインしています。

「Muse」の「デザイン」

「デザイン室の仕事は、①展示デザイン、②情報デザイン、③環境デザイン」の三つからなっています。博物館に専属のデザイナーがいることのメリットは、博物館の空間を統一したイメージでデザインできること。木下さんが熱く語ってくれました。



1



2



3

まず展示デザイン。木下さんと矢野さんは、作品を研究し、展示の企画を立てる絵画、彫刻、陶磁などの専門の研究員と相談しながら計画を立てます。ポイントは、作品の魅力を引き立てること、作品の負担にならないよう配慮すること、の二点です。

たとえば本館11室の彫刻の展示（写真1）。展示室の柱と梁はお寺をイメージしています。通常の彫刻の展示ではなるべく影をつくらないよう、また作品の細部が見えるよう、いろいろな方向から光を当てる必要があります。しかし光の量が多くなると、作品に負担がかかってしまいます。ここで梁の上のスポットライトが活躍。必要な光だけを当てることで、かつ仏像が浮き上がってくるような展示が実現したのです。

つぎに情報デザイン。博物館にきたら、今日は何が展示されているのか、どこに展示されているのか、お手洗いは、休憩室はどこなのか？ とさまざまな情報が必要になります。館内には、要所要所に館内地図と今日展示されているものについての案内板（サインボード）が写真2。サインをどこに置くか、いかに見やすくするか、情報をいかにして来館者につたえるか、これが情報デザインです。作品のそばに置く解説、さらにはユリノキやヨシノシダレなど、樹木の解説板なども、デザイン室がデザインしました（写真3）。

環境デザインは、博物館館内のあらゆる場所の照明や椅子の配置、ゴミ箱の選定、看板のデザインなど文字通り博物館の環境すべてにかかわります。

この三つの要素をトータルに考えて計画をたて、設計し、さらに実際の制作をする専門の業者さんとやり取りをしながら、博物館の空間をつくりだす。これが木下さんたちの仕事です。さらにお話を聞きながら、実際に仕事ぶりをみせてもらいましょう。



5



4



6

見やすく、かつ美しく ——矢野さん

三月某日。本館19室が館内整備事業のため閉室されるのに伴い、本館のサインボードをつくり直すとのこと。広報室が担当しているパンフレット類と、表示を合わせなくてはなりません。デザイン室研究員・矢野さんが室長の木下さんと相談しながら、一つ一つ確認していきます（写真4）。

矢野さんは、おもに平常展示のデザインと環境のデザイン計画を担当しています。展示デザインでは担当研究員の難しい注文を具体化させると同様、安全性の確保も重要。免震装置や展示具の設計では、展示作品を守ることはもちろん、観る人、作業する人の安全も考えます。お客様の視点も大切にします。「東博には高齢者の方が多く来館されます。作品や解説の高さに配慮するなど、見た目の美しさと見やすさを両立させるように気を配ります」。たとえば浮世絵の解説パネル（写真5）。暗い展示環境のなか、作品を見ながら楽に

解説が読めるよう、浮世絵のそばの壁面に斜めに設置されています。展示替えのときの解説の交換もしやすいよう配慮されています。訪れたすべての人が満足する環境をつくりあげることが難しいですが、まずは自分自身が満点をつけられるような仕事をしたい、と話してくれました。

コミュニケーションが大事 ——石川さん

サインボードに掲示される情報は日々更新されています。この部分をデザイン・制作するのが石川さん。グラフィックデザイナーです。特に見てもいい作品や、閉室のお知らせなど、大切な情報をピックアップ、レイアウトしてサインを作ります。さまざまな部署から集まった情報をまとめる石川さんは、仕事でもっとも大切なのはコミュニケーションだといいます。休館日の月曜には館内をまわってサインを貼りがえします（写真6）。

もともと博物館にはあまり足を運ばほうではなかったという石川さんは、大学の先生にすすめられてデザイン室にやってきましたとか。「デザインの本を読んだり、業者さんたちの仕事を参考にしたり、毎日試行錯誤しながら勉強させてもらえる東博の環境に感謝しています」と語ります。この三月、石川さんは三年の任期を終えて元気に東博を巣立っていきました。

計画から最終調整まで。

特別展のしごと

特別展の展示デザインもとりしきる室長の木下さん。企画がきまった段階から担当研究員と相談し

て、時には作品の選定に加わることもあります。展示の設計・施工を行う業者さんと連携して会場を組み立てていきます。その現場をみせてもらいました。

3月24日 仕上げは照明——「最澄と天台の国宝」展

「最澄と天台の国宝」開幕三日前。展示も最終段階に入ってきました。木下さんは、作品の魅力を最大限に引き出し、かつ作品にとって負担にならない明るさを考えながら、照明の最終調整を行います。



光を当てる前の聖観音菩薩立像



2. 平成館の照明調整板。



1. 今回の展示にもっとも適したものを選び出します



4. 角度決定。懐中電灯と反対方向に持ったレーザーポインタのさす位置にライトを設置します



3. 色々な角度から光を当てて作品の表情をチェック



やわらかい光の中に立つ聖観音菩薩立像(延暦寺蔵)



5. さらに照度を測りながら、微調整を重ねていきます

6. 高所作業車でライトを設置。天井の高さは8.5メートル

4月11日 照明実験——「プライスコレクション」若冲と江戸絵画展

四月十一日、七月四日に始まる「プライスコレクション」若冲と江戸絵画展(4〜5ページ参照)に向けて展示の実験が行われました。この展覧会では、光によって変化する絵画の表情を楽しんでもらう展示スペースを企画しています。プライスさんの絵の楽しみ方を、会場でも味わってための新しい試みです。どのくらいの明るさの光を、どの角度から、どの程度あてるのか。実際に博物館の作品を使って実験を行います。本番でより効果的な展示を実現するために必要な作業です。



美術コレクターのジョー・ブライスさんの自宅。外からの光を自在に操って作品の表情の変化を楽しんでいます



1. 実際の展示スペースを想定した空間を設営します。鑑賞者の位置はテープで示します



2. 光の方向や強さを指示する木下さん(右)



3. 実験会場には加湿器を設置。作品保護のため、実験中の温湿度調整もかかせません



4. 左右から均一に光をあてます



5. 左右の光をそれぞれ変化させることによって、金、銀、雲母(きら)、各種の顔料が際立ってきます



6. スポットライトを加えると、陰影が強調されていきます



7. スポットライトの光によって、夕暮れのような効果が

▲重要文化財 日月山水図屏風(左隻)
室町〜桃山時代 東京国立博物館蔵

真夜中までデザイン図面に向かっていることもしばしば。よりよい博物館体験のために、木下さんと矢野さんの研究には余念がありません。



発足から三年めのデザイン室、東博をさらに魅力的な空間にするため、進化し続けています。(遠藤樂子)

INFORMATION

入会日より一年(入会月の翌年同月末日まで)有効
賛助会員には、特別会員と維持会員との二種類があります。

東京国立博物館では賛助会員制度を設け、当館を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・平常展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

◆東京国立博物館賛助会員募集のご案内

年会費

維持会員	特別会員
個人 5万円	法人 100万円以上

特典

- 特別展の内覧会にご招待
- 東京国立博物館ニュースの送付
- 賛助会員のお申し込みは随時受け付けています。

*お問い合わせ

東京国立博物館営業開発部
賛助会担当
TEL 03-3822-1111(代)

東京国立博物館賛助会員 2006年4月30日現在

特別会員

日本電設工業株式会社 様
東京電力株式会社 様
株式会社コア 様
株式会社 精養軒 様
毎日新聞社 様
大日本印刷株式会社 様
株式会社 大林組 東京本社 様
朝日新聞社 様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社 ミロク情報サービス 様
TBS 様
東京新聞・中日新聞社 様
株式会社 電通 様
読売新聞東京本社 様
クラブツーリズム株式会社 様
山越 保子 様

維持会員

三菱電機ビルテクノサービス株式会社 様
早乙女 節子 様
株式会社 三冷社 様
宇津野 和俊 様
伊藤 信彦 様
小金井造園株式会社 様
株式会社 NTTドコモ 様
井上 萬里子 様
田添 博 様
京葉匠 鶴屋吉信 様
株式会社 東京美術 様
服部 禮次郎 様
藪内 匡人 様
岩沢 重美 様
高田 朝子 様
齋藤 京子 様
齋藤 邦裕 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
井上 静男 様
佐々木 芳絵 様
藤原 紀男 様
小田 昌夫 様
吉岡 昌子 様
松本建設株式会社 様
関谷 徳衛 様
高橋 守 様
小澤 桂一 様
上久保 のり子 様
寺本 明男 様
櫛田 良豊 様
株式会社 スタイルカフェ・ドット・ネット 様
長谷川 英樹 様
池田 孝一 様

木村 剛 様
観世 あすか 様
コクヨ株式会社 様
星望 由尚 様
株式会社 鴻池組 東京本店 様
株式会社 アクタス 様
林 宗毅 様
安田 敬輔 様
久保 順子 様
渡辺 章 様
稲垣 哲行 様
堀江 磨紀子 様
帖佐 誠 様
株式会社 古美術蔵本 様
飯岡 雄一 様
峯村 協成 様
大嶋 道子 様
牧 美也子 様
高瀬 正樹 様
坂井 俊彦 様
山本 富三郎 様
寺浦 信之 様
高木 弘幸 様
高木 美華子 様
晩飯島工業株式会社 様
山岡 ユウ子 様
根田 穂美子 様
松本 澄子 様
池嶋 洋次 様
鷺塚 泰光 様
是常 博 様
上野 孝一 様
北山 喜立 様
謙慎書道会 様
社団法人 全国学校栄養士協議会 様
小笠原 繁 様
山田 泰子 様
原 桃介 様
近代書道研究所 様
佐野 英基 様
田村 久雄 様
日本畜産興業株式会社 様
有限会社 アートオフィスJC 様
高橋 徹 様
栄田 陸子 様
絹村 安代 様
高橋 良守 様
白井 生三 様
津久井 秀郎 様
藤倉 光夫 様
神通 豊 様
永久 幸範 様

(ほか27名4社、順不同)

◆コンサート開催のお知らせ

東京国立博物館 SUMMER CONCERT ～Piano Trio In Tokyo National Museum～

日時 6月3日(土) 15:30開演
会場 東京国立博物館 平成館ラウンジ
出演 堀正文(ヴァイオリン)、清水和音(ピアノ)、藤原真理(チェロ)
主催 東京国立博物館、サロン・ド・ソネット
曲目 偉大なる芸術家の生涯 チャイコフスキー ほか
料金 一般 6000円
ペア券 11000円
学 生 5000円 250席 全席自由
※コンサート当日の平常展観覧料を含む

チケットのお求め方法

- 当館正門観覧券売場でのチケット販売
受 付 開館日の9:30～閉館30分前(月曜休館)
- 電話予約販売
申込先 東京国立博物館イベント担当 TEL03-3821-9270
受 付 月曜日～金曜日の9:30～17:00(祝日は除く)
※電話予約された方には、コンサート当日、当館正門観覧券売場にて現金引換にてお渡しします。
引換時間 コンサート当日の9:30～

※各イベント詳細は、東京国立博物館イベント担当
(03-3821-9270)または、当館ホームページでご確認ください。
※お車でのご来館はご遠慮ください

◆18年度 臨時休館日のお知らせ

6月12日(月)、13日(火)は電気設備保守点検のため全館(資料館を含む)臨時休館いたします。

◆2006年10月1日 観覧料改定のお知らせ

国立博物館では、2006年10月1日より平常展観覧料等の改定を行うことになりました。国立博物館は2006年度から独立行政法人として第2期中期計画期間に入りますが、自己収入予算(ノルマ)が前年度の6億8000万円に対し、3億6000万円引き上げられ、約10億4000万円となります。今後も文化財の収集・保管・展示・調査研究の事業を継続していく必要があり、さらに施設の耐震対策等の財源も新たに必要となっています。

国立博物館の置かれている状況に鑑み、皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2006年10月1日から改定となる観覧料・バスポート料金

[東京国立博物館]

一般600円(団体500) 大学生400円(団体300)
高校生以下と満70歳以上の方は無料
バスポート一般4000円 学生2500円

[京都国立博物館・奈良国立博物館]

一般500円(団体400) 大学・高校生250円(団体200)
中学生以下と満70歳以上の方は無料

[九州国立博物館] 現行据え置き

* 団体は20名以上

◆招待券プレゼント

本誌4～5ページで紹介したプライスコレクション「若沖と江戸絵画」展の招待券を抽選で10組20名様にプレゼントします。締め切りは6月30日。

* プレゼントの応募方法

はがきに、住所、氏名(ふりがな)、男女、年齢、職業、ならびにこの号でいちばん面白かった企画をご記入のうえ、下記までお送りください。締め切りは6月30日、発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 台東区上野公園13-9 東京国立博物館 広報室「ニュース6・7月号」プレゼント係

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会 年会費 1万円 発行日から1年間有効
特典 東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に関しては、観覧券を12枚配布。そのほか、本誌の定期郵送などさまざまな特典があります

パスポート 一般 3000円 学生 2000円
 発行日から1年間有効

特典 東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の平常展は何度でも、好きな6つの特別展を1回ずつ計6回までご覧いただけます

◆お申し込みは当館の窓口あるいは郵便振替で友の会

加入者名(振替先) 東京国立博物館友の会
 口座番号 00160-6-406616
 金額 1万円
 *振替用紙には職業・年齢・性別・ご希望のプレゼント番号(パンフレット、ウェブサイト参照)を楷書でご記入ください

パスポート

加入者名(振替先) 東京国立博物館パスポート
 口座番号 00120-3-665737
 金額 一般3000円、学生2000円
 *振替用紙には申込区分(一般か学生)、学生の場合は学校名および学生証番号を楷書でご記入ください
 *振替用紙の半券が領収書になります。会員証、パスポートチケットが届くまで保管しておいてください
 *振替手数料はお客様の負担となります
 *郵便振替でのお申し込みには2週間かかります

◆問い合わせ

TEL 03-3822-1111(代) 友の会・パスポート担当

東京国立博物館ニュース定期郵送のご案内

本誌の定期購読をご希望の方は、年間(6冊分)1000円の送料・事務費のご負担でご自宅にお届けします

◆お申し込みは郵便振替で

加入者名(振替先) 東京国立博物館ニュース
 口座番号 00100-2-388101
 *振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書でご記入ください
 *振替用紙の半券が送料の領収書になります。1年間保管しておいてください
 *振替手数料はお客様のご負担となります
 *次号より送付ご希望の場合、締切は7月10日まで

東京国立博物館利用案内

開館時間 9:30～17:00、4月～12月の特別展開催期間中の金曜日は20:00まで、4月～9月の土・日・祝・休日は18:00まで(入館は閉館の30分前まで)

休館日 毎週月曜日(祝日、休日の場合は翌日)、年末年始(12月28日～1月1日)。ゴールデンウィークおよびお盆期間(8月13日～8月15日)は原則として無休
 2006年6月13日(火)は臨時休館

平常展観覧料金

一般420(210)円、大学生130(70)円

- * ()内は20名以上の団体料金
- * 障害者とその介護者1名は無料です。入館の際に障害者手帳などをご提示ください
- * 満65歳以上、および高校生以下の方の平常展観覧は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください

講座・講演会、友の会&パスポートおよび本誌定期郵送等のお申し込みの際にご提供いただいた個人情報に関しては、当該の目的のみ使用させていただくものです。当館では個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします



プラズマテレビ



プラズマテレビ感謝状

◆プラズマテレビをご寄贈いただきました
 住友信託銀行株式会社から、松下電器産業株式会社製65V型ハイビジョンプラズマテレビ及び据置きスタンドをご寄贈いただきました。贈呈式は三月二十日(月)に行われ、野崎弘館長から中井正彦同社取締役

役兼常務執行役員に、謝意を表して感謝状を贈りました。
 既にご覧になられた方もおられるかと思いますが、同テレビは平成館1階ガイダンスルームに設置しております。今後は、当館で開催する特別展の解説映像などを放映して、お客様に展示を一層楽しんでいただけるよう活用していきたいと思っています。

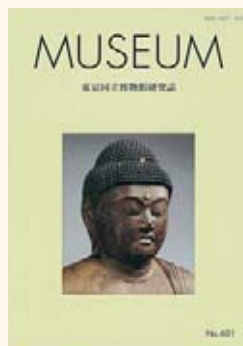
◆東京国立博物館出版物刊行のお知らせ

- 「東京国立博物館紀要第41号」
- 「中世僧侶肖像の研究―架装に関する問題を中心に―」浅見龍介
- 「方形板革綴短甲の基礎的研究(1)」古谷毅
- 「東京国立博物館所蔵経筒の科学的研究―蛍光X線分析・鉛同位体比法分析」原田一敏、平尾良光

◆MUSEUM 601号

(平成18年4月15日発行)の掲載論文

- ①「新出の酒井抱一画・加藤千陰書(桐図屏風)と永田コレクション」井田太郎(国文学研究資料館助手)
- ②「アマラーヴァティー大欄楯の研究(1)―大欄楯の建造過程―」島田明(ロンドン大学東洋アフリカ学院宗教学部ポストドクター研究員)
- ③「『新収品紹介』探幽縮図 狩野探幽



筆(下)小野真由美(当館列品室研究員)
 ④「『修理報告』裾野市願生寺の阿弥陀如来坐像」浅見龍介(当館出版企画室長)

「東京国立博物館文化財修理報告VI」
 「法隆寺献納宝物特別調査概報26 聖徳太子絵伝下貼文書1」
 いずれもミュージアムショップにてお買い求めいただけます。「東京国立博物館文化財修理報告VI」を除く

◆国立博物館の展示案内

〈京都国立博物館〉

開催中～6月4日(日) 特別展覧会「大絵巻展―国宝『源氏物語絵巻』、『鳥獣戯画』など一挙公開―」
 開催中～7月2日(日) 特集陳列「新収品展」

〈奈良国立博物館〉

6月10日(土)～7月9日(日) 特別陳列「大和古物 今に生きる匠の技」(仮)

〈九州国立博物館〉

開催中～6月25日(日) 特別展「うるま ちゅら島 琉球」

2006年
6月

東京国立博物館 6月・7月の展示・催し物

2006年
7月

1 THU	● 14:00 ● 14:30
2 FRI	● 15:00
3 SAT	時間延長 (18:00まで) 月例講演会「内国博覧会の工芸」13:30 平成館大講堂 東京国立博物館サマーコンサート15:30 平成館ラウンジ*1 ● 13:30 ● 14:00 ● 15:00
4 SUN	時間延長 (18:00まで) ● 14:00 ● 14:30
5 MON	休館日
6 TUE	列品解説「十二支銘骨壺に新事実」14:00 東洋館第9室
7 WED	● 14:30
8 THU	● 14:00 ● 14:00 ● 14:30
9 FRI	
10 SAT	時間延長 (18:00まで) テーマ別講演会「江戸時代後期の絵画(2) 南画と南蘋派」13:30 平成館大講堂 ● 14:00 ● 14:30 ● 15:00
11 SUN	時間延長 (18:00まで) ● 14:00 ● 14:30
12 MON	休館日
13 TUE	休館日
14 WED	● 14:30
15 THU	● 14:00 ● 14:30
16 FRI	● 15:00
17 SAT	時間延長 (18:00まで) テーマ別講演会「江戸時代後期の絵画(3) 抱一・其一の活動とその背景」13:30 平成館大講堂 ● 13:30 ● 14:00 ● 15:00
18 SUN	時間延長 (18:00まで) ● 12:30, 14:00 ● 14:00 ● 14:30
19 MON	休館日
20 TUE	ハーバード大学クロコディロスコンサート13:00, 15:00 本館 エントランス 列品解説「川端龍子遺愛の十一面観音立像」14:00 本館11室
21 WED	● 14:30 ■ 14:00
22 THU	● 14:00 ● 14:30
23 FRI	
24 SAT	時間延長 (18:00まで) テーマ別講演会「江戸時代後期の絵画(4) 18世紀京都の絵画—その通心性と求心性—」13:30 平成館大講堂 ● 14:00 ● 14:30 ● 15:00
25 SUN	時間延長 (18:00まで) ● 14:00 ● 14:00 ● 14:30
26 MON	休館日
27 TUE	列品解説「女性の鋳物師亀女の鶺鴒香炉—江戸時代の蠟型鋳物—」14:00 本館8室
28 WED	羽石道代コンサート13:00, 15:00 平成館ラウンジ ● 14:30
29 THU	● 14:00 ● 14:30
30 FRI	● 15:00

- ＝ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所:本館1階エントランス
- ＝ボランティアによる浮世絵版画展示ガイド、集合場所:本館1階エントランス
- ＝ボランティアによる陶磁エリアガイド、集合場所:本館1階エントランス
- ＝ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所:本館1階エントランス
- ＝ボランティアによる樹木ツアー、集合場所:本館1階エントランス
- ＝ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所:平成館考古展示室入口
- ＝ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所:法隆寺宝物館1階エントランス
- ＝ボランティアによる応挙館茶会、集合場所:本館1階エントランス (参加費500円、開始1時間前に本館1階で整理券配布)

1 SAT	時間延長 (18:00まで) 月例講演会「ガンダーラの仏伝図」13:30 平成館大講堂 ● 13:30 ● 14:00 ● 15:00
2 SUN	時間延長 (18:00まで) ● 14:00 ● 14:30
3 MON	休館日
4 TUE	列品解説「桃山茶陶を楽しむ」14:00 本館13室 特別展 プライスコレクション「若冲と江戸絵画」展 親と子のギャラリー (8月27日まで)
5 WED	● 14:30
6 THU	● 14:00 ● 14:30
7 FRI	夜間開館 (20:00まで) ● 15:00
8 SAT	時間延長 (18:00まで) 記念講演会「なぜ、どのように江戸絵画に魅惑されていったのか」13:30 平成館大講堂*2 ● 14:00 ● 14:30
9 SUN	時間延長 (18:00まで) ● 14:00 ● 14:30
10 MON	休館日
11 TUE	列品解説「書跡に親しむ」14:00 本館特別1・特別2室
12 WED	● 14:30
13 THU	● 14:00 ● 14:00 ● 14:30
14 FRI	夜間開館 (20:00まで)
15 SAT	時間延長 (18:00まで) ● 13:30 ● 14:00 ● 15:00
16 SUN	時間延長 (18:00まで) ● 12:30, 14:00 ● 14:00 ● 14:30
17 MON	時間延長 (18:00まで)
18 TUE	休館日
19 WED	● 14:30 ■ 14:00
20 THU	● 14:00 ● 14:30
21 FRI	夜間開館 (20:00まで) ● 15:00
22 SAT	時間延長 (18:00まで) ● 14:00 ● 14:30
23 SUN	時間延長 (18:00まで) ● 14:00 ● 14:00 ● 14:30
24 MON	休館日
25 TUE	列品解説「仏像の材質のこと—7・8世紀を中心に—」14:00 本館11室
26 WED	● 14:30
27 THU	● 14:00 ● 14:30
28 FRI	夜間開館 (20:00まで)
29 SAT	時間延長 (18:00まで) 記念講演会「若冲を魅了させた男」13:30 平成館大講堂*2 親と子のギャラリー ワークショップ第1回「家族で参加 あなたもコレクター」*3 ● 14:00 ● 15:00
30 SUN	時間延長 (18:00まで) ● 14:00 ● 14:30
31 MON	休館日

- 8/27まで
- ＝ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所:本館1階エントランス (開始1時間前に本館1階で整理券配布)
 - ＝ボランティアによる英語ガイド (本館ハイライト)、集合場所:本館1階エントランス
- *1は有料イベントです (本誌14ページをご覧ください) *2は事前申込制 (本誌5ページをご覧ください)
*3は事前申込制 (本誌7ページをご覧ください)
*上記の予定は予告なく変更になることがあります。当日の予定はインフォメーションカウンターでご確認ください。
*屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。